

3R推進に係る市町村の施策状況について

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策					
	施策名	開始年月	内容	施策名	開始年月	内容	施策名	開始年月	内容			
前橋市	有価物集団回収増加促進奨励金の交付	H24.4	従来の回収量に応じた奨励金に加えて、増加促進奨励金として、①集団回収を実施した月数に対し、500円/月、②古着の回収実績がある場合、年間1,000円、回収量が年間500kg以上ある場合4,000円、1か月の回収量が100kg以上ある月にに対し、1,000円交付。	減少を続けていた新聞の回収量に代わり、古着の回収に重点を充てた結果が古着の回収量は増加した。(H26古着回収量: 133,860 → H27: 157,050kg)	使用済小型家電の有価物集団回収での回収	H28.4	使用済小型家電のうち指定する40品目を有価物集団回収の奨励金の対象として追加した。	H28年度 51,560kg	分別アプリの配信	H29.6	収集日や分別方法が確認できるアプリの配信。日本語のほか、5か国語対応(英語・中国語・ポルトガル語・ハングル・ベトナム語)。	
	古紙分別収集の実施	H24.10	古紙の分別を推進するため、市民が古紙を出しやすい環境を整備した。(隔週で可燃ごみ集積場所にて収集)	平成27年度回収実績 2,534,330kg 可燃ごみの減量 (H26: 102,686.58t → H27: 95,467.56t)	第2次G活チャレンジ「ステキにごみダイエット」の開始	H28.4	平成32年度までに1人1日あたりの家庭ごみ(資源ごみを除く)量を35g減量するために、「ごみダイエット」を頭文字とした7つの取り組みを中心に減量のための啓発を行う。	H28年度 15g減 (H27 584g → H28 569g)	小中学生向け啓発DVDの配布	H29.10	ごみの減量や3RについてのDVDを作成し、小中学校へ配布。(中学生向けG活講座はH28年度で終了)	
	枝葉粉砕機の購入費助成	H23.4	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、枝葉粉砕機の購入に対し助成を行う。H23～H25は購入費の1/2(限度額3万円)。H26は購入費の1/2(限度額1万円)	H23助成実績 28基 H24助成実績 24基 H25助成実績 31基 H26助成実績 36基 H27助成実績 30基	家庭用資源・ごみ分別ガイドブックの配布	H28.4	資源とごみの分別、処分方法についての保存版ガイドブックを作成し、全戸配布した。		地域版リユース宝市の開催	H29.11	小学校PTAのバザーとリユース宝市(不用品交換会)を同時開催し、地域に根付くようリユースの活動の推進を図る。	
	ごみ減量のプロジェクト「G活チャレンジ!100」	H25.6	1人1日100gのごみ減量を進めるため、「G活チャレンジ!100」をキャッチフレーズに講座・説明会の強化、情報発信の充実、参加体験型イベントの実施など取り組みの強化を進めた。(平成27年度を持って終了)	全中学生を対象としたG活講座の開催、年齢層ごとの啓発実施、リユース宝市の開催など	剪定枝粉砕機の貸出し	H28.7	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉砕機の貸出を開始した。	H28年度 24件				
	リユース食器利用費補助金の交付	H25.4	自治会等の団体が主催するイベントで、リユース食器を利用する場合、その費用の一部を補助することにより、ごみの発生抑制及びリユース意識の普及啓発を図る。対象経費の1/2(限度額5万円)	H25実績 7件 H26実績 8件 H27実績 8件	家庭ごみ店頭相談会の実施	H28.10	市内に店舗を置くスーパー等に協力を依頼し、買い物に来た市民を対象に相談会を実施した。	H28年度 17店舗				
	リユース宝市の実施	H25.12	平成27年度は、「子育て応援!リユース宝市」と題して、市民から家庭に眠る再使用可能な乳幼児向けの日用品を提供してもらい、必要としている子育て世帯に無料で提供する体験型普及啓発イベントを実施した。	H27.12.13に実施。384人が参加した。2,800kg(推計)のリユース品が集まり、2,337kg(推計)が新しい持ち主の手に渡った。	リユース宝市の実施	H28.10	市民から家庭に眠る再使用可能な日用品を提供してもらい、必要としている方に無料で提供する体験型普及啓発イベントを実施した。	参加者 約1,000人 回収量 8,120kg 持ち帰り 6,380kg				
	中学生を対象とした環境講座	H24.4	平成25年度から「めざせごみゼロ!G活講座」と題し、市内公立中学校を対象にして、全校集会などを利用し環境講座を実施。3Rの必要性などを啓発する。	中学生及び教職員 の環境意識が高まった。	家庭用資源・ごみ分別ガイドブックの翻訳	H29.3	英語・中国語・ポルトガル語・ハングル・ベトナム語の5か国語に翻訳した。					
	古着回収の推進	H23.4	H23.4月から有価物集団回収の対象品目に追加 H23.7月から市の設置した「紙リサイクル庫」の回収品目に追加 H26.4月から古紙のステーション収集日の回収品目に古着類を追加 市民の意識向上と古着を排出しやすい環境を整備した。	H23回収実績 80.95t H24回収実績 128.73t H25回収実績 244.68t H26回収実績 534.37t H27回収実績 636.62t								
	使用済小型家電拠点回収	H25.10	使用済小型家電に含まれる希少金属等のリサイクル及びごみ減量を図るため、市内23箇所に回収ボックスを設置して拠点回収を行ったほか、清掃工場への持ち込みごみからの分別、イベント回収を行った。	H25回収実績 52,894kg H26回収実績 80,985kg H27回収実績 75,670kg								

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策				2 H28年度に実施した3R施策				3 H29年度から新たに実施する3R施策		
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
前橋市	段ボールコンポストの実証実験	H26.7	市内公立小中学校や公募による市民モニターに、実際に段ボールコンポストを使用してもらい、その有効性や普及方法などを検証した。	H26参加件数 100件 H27参加件数 52件							
	廃食用油拠点回収	H26.9	家庭から排出される廃食用油について、市役所や支所、市民サービスセンター等17箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を開始した。	H26売却実績 4,610kg (9月から実施) H27売却実績 7,980kg							
	食べきり運動	H26.11	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数 25件 (1月末現在)							
	使用済インクカートリッジ拠点回収	H27.2	プリンターメーカー6社が実施している「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、市有施設19箇所で使用済インクカートリッジの回収を開始した。	利便性の向上							
	事業系ごみの適正排出とごみ減量の推進	H27.4	清掃工場搬入時の展開検査の強化 許可業者と連携して排出事業者への啓発の強化								
高崎市	有価物集団回収での古着・古布の回収	H25.11	有価物集団回収の品目に古着・古布を追加。	H25年度は約9tの回収実績があった。	有価物集団回収での古着・古布の回収	H25.11	有価物集団回収の品目に古着・古布を追加。	H28年度は約42tの回収実績があった。			
	使用済小型家電の回収	H26.4	市内13カ所に回収ボックスを設置してのボックス回収、清掃センターでのピックアップ回収を実施。また、イベントでの回収も実施した。	H26年12月までに約197tの回収実績があった。	使用済小型家電の回収	H26.4	市内13カ所に回収ボックスを設置してのボックス回収、清掃センターでのピックアップ回収を実施。また、イベントでの回収も実施した。	H28年度は約345tの回収実績があった。			
					生ごみ処理機器購入費補助	H5.	生ごみの堆肥化等によるごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2を補助。	H28年度は79件の申請があった。			
					雑がみモデルステーションの実施	H26.10	雑がみの資源化を推進するため、各町内でモデルとなるごみステーションを設定し、雑がみの分別徹底とリサイクル推進を図った。	H28年度は66町内で実施し、雑がみの分別啓発を行った。			
					イベント時の家具類リユース事業	H12年	粗大ごみとして収集した家具類のうち、まだ利用可能なものを年2回(各2日間)のイベント時に展示し、抽選で再利用希望者へ引き渡した。	2回のイベントで計126点の家具類が再利用希望者へ引き渡された。			
				イベント時の古着・古布・古本の回収及び交換会	H27以降	年2回(各2日間)のイベント時に、古着・古本・古布の交換会を実施。	H28年度は古着・古布・古本合わせておおよそ1.5tが交換され再利用された。				

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策					
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	
桐生市	ダンボールコンポストによる生ごみの減量化	H24.4～	H24・25年度に10名前後のモニターを募集し、減量化の実証実験を開始。H26年度、ダンボールコンポストの講師を招き、全3回（各30名づつ）の講習会を開催。環境イベント時などに普及・啓発。	ごみ減量の効果が認められるが、使用時期により、温度の管理や虫対策などが必要となり、手間もかかることから、普及には、課題がある。	古布・古着の集団回収事業	H26.4～	本事業は、従来より実施されているが、古布・古着に関して、集団回収されていなかったため、事業者への働きかけを行い、平成26年度より回収を開始。		廃食用油回収ボックスの常時設置	未定	庁舎内に廃食用油をいつでも回収できるような体制を整えることで回収量アップを目指す。	
	古布・古着の集団回収事業	H26.4～	本事業は、従来より実際されているが、古布・古着に関して、集団回収されていなかったため、事業者への働きかけを行い、平成26年度より回収を開始。	H26 4,244kg H27 4,106kg H28 1,684kg (7月末現在)	買い物袋持参運動の推進	H10頃～	桐生市ごみ減量化推進協議会の協力により、市内のスーパー3店舗にて、街頭啓発を実施。		市HPの充実によりリサイクルの周知啓発	未定	HPの内容を充実させ、リサイクルの啓発をする。集団回収登録団体数向上を目指す。	
	買い物袋持参運動の推進	H10頃～	桐生市ごみ減量化推進協議会の協力により、市内のスーパー3店舗にて、街頭啓発を実施。		ごみ減量教室	H20以前	10人以上から35人までの公民館活動団体や小・中学校等のPTAなどの団体を対象として、循環型社会などについて、講習会を開催。	H28年度 5回 108名 ごみ減量の啓発と理解を深めることが出来た。	市役所から搬出される資源ごみ（紙類）の再利用	未定	主に新聞紙を古紙業者に引き取ってもらいごみ減量を目指す。	
	ごみ減量教室	H20以前～	10人以上から35人までの公民館活動団体や小・中学校等のPTAなどの団体を対象として、循環型社会などについて、講習会を開催。	H27年度 4回 164名 ごみ減量の啓発と理解を深めることが出来た。	廃食用油回収の推進	H19.2～	廃食用油回収団体への支援等		リユース市の開催	未定	ごみに出さずに出品し欲しい人に引き取ってもらえるような市を開催する。	
	廃食用油回収の推進	H19.2～	廃食用油回収団体への支援等		簡易包装の推進	H20以前	市内のスーパー、ホームセンターなどを対象として、お中元、お歳暮時期に、簡易包装への依頼文を郵送。					
	簡易包装の推進	H20以前	市内のスーパー、ホームセンターなどを対象として、お中元、お歳暮時期に、簡易包装への依頼文を郵送。		子供向け啓発冊子作成	H9.4～	子供向けの啓発冊子「ごみるくん家族の大冒険」を作成し、市内の小学4年生に配付。本冊子には、本市におけるごみの現状などを初めとした事項が記載されている。	市内、全ての小学4年生が、校外学習の一環として実施している清掃センター見学时に使用。	市内、全ての小学4年生が、校外学習の一環として実施している清掃センター見学时に使用。			
	子供向け啓発冊子作成	H9.4～	子供向けの啓発冊子「ごみるくん家族の大冒険」を作成し、市内の小学4年生に配付。本冊子には、本市におけるごみの現状などを初めとした事項が記載されている。	市内、全ての小学4年生が、校外学習の一環として実施している清掃センター見学时に使用。	使用済み小型家電の回収	H26.1～	市庁舎等の18箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施した。	雑がみの分別徹底を図るため、公立教育・保育施設を対象に、分別ボックスを設置する。また、各家庭における分別徹底を図るため、分別方法を記したチラシを每户配付。	分別ボックスの設置より、児童、生徒等の意識向上に繋がった。			
	使用済み小型家電の回収	H26.1～	市庁舎等の18箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施した。	H26 17,530kg H27 24,950kg H28 10,120kg (7月末現在)	雑がみの分別徹底	H27.12	雑がみの分別徹底を図るため、公立教育・保育施設を対象に、分別ボックスを設置する。また、各家庭における分別徹底を図るため、分別方法を記したチラシを每户配付。	分別ボックスの設置より、児童、生徒等の意識向上に繋がった。	従来は、奨励金単価4.5円/kgであるが、回収量の増加を図るため、回収量に応じた奨励金単価に変更。			
	雑がみの分別徹底	H27.12	雑がみの分別徹底を図るため、公立教育・保育施設を対象に、分別ボックスを設置する。また、各家庭における分別徹底を図るため、分別方法を記したチラシを每户配付。	分別ボックスの設置より、児童、生徒等の意識向上に繋がった。	桐生市再生資源集団回収事業	H27.4～	従来は、奨励金単価4.5円/kgであるが、回収量の増加を図るため、回収量に応じた奨励金単価に変更。	3Rアドバイザーの設立	H28.4～	桐生市に特化した3Rアドバイザーを市民から募集し制度化を目指す。	3名から応募があり、うち2名が合格。	
	桐生市再生資源集団回収事業	H27.4～	従来は、奨励金単価4.5円/kgであるが、回収量の増加を図るため、回収量に応じた奨励金単価に変更。		コンポストによる生ごみの減量化	H28.3～	公立教育・保育施設の10施設に、コンポスターを配付し、生ごみの減量化を図る。					

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
伊勢崎市	使用済み小型家電の回収	H25.5	本庁舎・支所・公民館等の公共施設に回収ボックスを設置して回収(H28.3月末で14箇所)。また、清掃施設にてピックアップ回収を実施。	H25年度実績 100 t H26年度実績 85 t H27年度実績 63 t	リユース食器貸出事業	H28.4	H27年度試験的に実施し、利用者から好評だったことから、市内のイベントに参加し営利目的でなく飲食を提供する団体を対象に無料でリユース食器の貸出しを継続して実施。	貸出件数 H28年度実績 32件			
	衣類の回収	H26.4	一部の地区で実施していた衣類回収について回収品目を増やし、全地区で拠点回収にて実施。また、H26.6月から公共施設に設置している資源保管庫での衣類回収を実施。	H26年度実績 165 t H27年度実績 147 t	衣類の集団回収事業	H28.4	集団回収奨励金の対象品目として衣類を追加。	回収量 H28年度実績 4 t			
	リユース食器貸出事業	H27.7	試験的に市内のイベントに参加し営利目的でなく飲食を提供する団体を対象に無料でリユース食器の貸出しを実施。	H27年度実績 20件	ごみ分別アプリの導入	H28.8	スマートフォンやタブレット端末で、ごみの収集日や出し方を確認でき、市から発信した情報を確認できるインフォメーション機能等を備えたごみ分別アプリを導入。	登録数 H28年度 1,636件			
太田市	資源回収に対する支援	H17.3	資源ごみ回収運動に協力する市内の団体が資源ごみを地域で共同収集し、売却する事業に対し報奨金を交付することにより、資源ごみの再生利用を促進する。	回収量 H27年度 4,095トン H26年度 4,302トン	取組なし						
	生ごみ処理槽等設置助成金制度	H17.3	家庭厨芥類の自家処理を推進しごみの減量化を図るため、生ごみ処理槽、生ごみ処理容器及び生ごみ処理機の導入について、その一部を助成する。	助成台数 H27年度 101台 H26年度 105台							
	廃食用油の回収	H20.10	家庭ごみの減量と資源のリサイクルを推進するため、使用済みや未使用で消味期限切れなどの廃食用油を回収する。(収集拠点：清掃センター、各行政センター計16箇所)	回収量 H27年度 3,834 L H26年度 4,356 L							
	使用済み小型家電の回収	H26.12	市庁舎ほか18箇所に収集ボックスを設置し拠点回収した。	回収量 H27年度 3,397.81kg H26年度 877.17kg							
沼田市	○古着・古布の回収	H25.4	○集団回収の品目に古着・古布を追加	H25～27年度回収実績 13.7 t	○古着・古布の回収	H25.4	○集団回収の品目に古着・古布を追加	H27年度回収実績 18.4 t	ごみ分別アプリの導入	H29.6	スマートフォンやタブレット端末で、ごみの収集日や出し方を確認でき、市から発信した情報を確認できるインフォメーション機能等を備えたごみ分別アプリを導入。
	○古着・古布のステーション回収	H27.4	○資源日に各ステーションにおいて古着・古布の回収を実施	H27年度回収実績 18.4 t	○古着・古布のステーション回収	H27.4	○資源日に各ステーションにおいて古着・古布の回収を実施	H28年度回収実績 10.4 t			
	蛍光管等のステーション回収	H25.4	資源日に各ステーションにおいて蛍光管等の回収を実施	H25～27年度回収実績 19.0 t	蛍光管等のステーション回収	H25.4	資源日に各ステーションにおいて蛍光管等の回収を実施	H27年度回収実績 7.1 t H28年度回収実績 5.0 t			
	使用済み小型家電の回収	H27.10	市庁舎等に回収ボックスを設置し回収、及びピックアップにより回収実施	H27.10～H28.3回収実績 14.3 t	使用済み小型家電の回収	H27.10	市庁舎等に回収ボックスを設置し回収、及びピックアップにより回収実施	H27.10～H28.3回収実績 14.3 t H28年度回収実績 44.4 t			
					有価物集団回収奨励事業	H2.10	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。	H27年度回収実績 638 t H28年度回収実績 614 t			

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
館林市	マイバッグキャンペーンの実施	H15年度～	身近なごみの減量化施策として、買い物の時はマイバッグを持って、レジ袋削減を目的としたマイバッグキャンペーンを実施。	H27年度は1,192kgのごみ減量効果があった	リユース品提供事業	H11.9～	ごみとして出された粗大ごみ等の中から、まだ利用できるもの、修理をすれば使えるもの等を市民へ提供することで、ごみの減量化、再利用の意識を持ってもらう。	年2回のイベントで約100点のリサイクル品を提供した。同時にごみ減量化等の啓発を行っている。	ノーレジ袋デー運動	未定	指定の日(期間)を設け、事業者側がレジ袋の配布を極力抑え、消費者にマイバッグ持参を促す「ノーレジ袋デー運動」を実施する予定。
	リユース品提供事業	H11.9	ごみとして出された粗大ごみ等の中から、まだ利用できるもの、修理をすれば使えるもの等を市民へ提供することで、ごみの減量化、再利用の意識を持ってもらう。	年2回のイベント約110点、市役所での展示30点の計140点のリサイクル品を提供(その他小物類9,000点提供)	不用食器の回収	H25.10～	家庭にある不用食器をイベント時に回収し、海外向けリユース品として活用するもの。	平成28年度回収実績 390kg			
	不用食器の回収	H25.10	家庭にある不用食器を公民館やイベントにおいて回収し、海外向けリユース品として活用するもの。	H27年度回収実績【公民館】：8.8t (H27.10月～H28.3月)【イベント時】：1.7t	廃木材の資源化	H25.12	剪定枝や家庭ごみとして搬入された家具等は焼却処分とされていたが、一層の資源化を促進するため再資源化できる中間処理業者に依頼するもの。	平成28年度回収実績 3,340kg			
	廃木材の資源化	H25.12	剪定枝や家庭ごみとして搬入された家具等は焼却処分とされていたが、一層の資源化を促進するため、再資源化できる中間処理業者に依頼するもの。	中間処理業者にて、再資源化を実施	ごみ減量化器具購入費助成金	S61.4	家庭のごみ減量を目的として、ごみ減量化器具の購入に対する助成を実施。(生ごみ処理槽 3,000円、生ごみ処理容器1,000円、生ごみ処理機1/2※上限20,000円)	平成28年度助成実績 生ごみ処理槽：14件 生ごみ処理容器：11件 生ごみ処理機：10件			
	エコ料理教室の実施	H26.6	生活者として関わる「買い物」「料理」「片づけ」の一連の作業を、環境に配慮して行うことでごみ減量への意識を高めてもらう。	調理の過程で出た、全てのごみの量をグループごとに比較	再生資源集団回収事業助成金	S56.4	資源の再生利用の推進とごみ減量を目的として、資源物を回収した団体に6円/kgの助成を実施。	平成28年度回収実績 1,384,199kg			
	ごみ減量化器具購入費助成金	S61.4	家庭のごみ減量を目的として、ごみ減量化器具の購入に対する助成を実施。(生ごみ処理槽：3,000円、生ごみ処理容器：1,000円、生ごみ処理機：1/2※上限20,000円)	H27年度助成実績 生ごみ処理槽：12基 生ごみ処理容器：3基 生ごみ処理機：5基	ペットボトルキャップの回収	H27.8	ペットボトルキャップの回収を行い、社会福祉協議会に引き渡すもの。	平成28年度回収実績 214.35kg			
	再生資源集団回収事業助成金	S56.4	資源の再生利用の推進とごみ減量を目的として、資源物を回収した団体に6円/kgの助成を実施。	H27年度回収実績 1,443.27t	廃蛍光管の拠点回収	H19.12	家庭から排出された廃蛍光管を電気店やホームセンター、公共施設の市内39か所で拠点回収を実施。	平成28年度回収実績 5,858kg			
	ペットボトルキャップの回収	H27.8	ペットボトルキャップの回収を行い、社会福祉協議会に引き渡すもの。	H27年度回収実績 189.4kg							
	廃蛍光管の拠点回収	H19.12	家庭から排出された廃蛍光管を、電気店やホームセンター・公共施設の市内39か所で拠点回収を実施。	H27年度回収実績 8,955kg							

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策				2 H28年度に実施した3R施策				3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	
澁川市	廃食用油の拠点回収	H18.2～	家庭から排出される廃食用油を市内20箇所にて拠点回収を実施。	年度別回収実績 23年度：6,389kg 24年度：5,631kg 25年度：5,437kg	廃食用油の拠点回収	H18.2～	家庭から排出される廃食用油を市内20箇所にて拠点回収を実施	H28回収実績 7,118kg					
	廃蛍光灯の拠点回収	H23年度～	家庭から排出される廃蛍光灯（割れていないもの）を市内18箇所にて拠点回収を実施。	年度別回収実績 23年度：751kg 24年度：1,077kg 25年度：1,302kg	廃蛍光灯の拠点回収	H23年度	家庭から排出される廃蛍光灯（割れていないもの）を市内18箇所にて拠点回収を実施	H28回収実績 1,719kg					
	枝葉破砕機購入費補助	H18.2～	家庭から排出される枝木の減量化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を行う。（購入費の1/2：上限額2万円）	年度別補助実績 23年度：20件 24年度：5件 25年度：6件	枝葉破砕機購入費補助	H18.2～	家庭から排出される枝木の減量化と資源化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額1万円）	H28補助件数実績 25件					
	生ごみ処理機等購入費補助	H18.2～	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機の購入に対し助成を行う。（購入費の1/2：上限額コンポスト＝3千円、EM菌容器＝2千円、電動式＝2万円）	年度別補助実績 23年度：コンポスト＝28件、EM菌＝3件、電動式＝10件 24年度：コンポスト＝38件、EM菌＝3件、電動式＝9件 25年度：コンポスト＝30件、EM菌＝0件、電動式＝8件	生ごみ処理機等購入費補助	H18.2～	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額コンポスト＝3千円、EM菌容器＝2千円、電動式＝3万円）	H28補助件数実績 コンポスト：26件 EM菌：0件 電動式：6件					
	資源ごみ集団回収に対する報奨金	H18.2～	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じた回収実施団体へ報奨金を支払う。（24年度までは、1kgに対し10円、25年度からは1kgに対し8円）	年度別回収実績 23年度：3,587t 24年度：3,608t 25年度：3,417t	資源ごみ集団回収に対する報奨金	H18.2～	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じた回収実施団体へ報奨金を支払う（1kgあたり8円）	H28回収実績 2,836t					
	小型家電製品の回収	H26.1～	家庭から排出される小型家電製品を市内7箇所にて拠点回収を行う。併せて粗大ごみからのピックアップ回収を試験的に実施。	拠点回収、ピックアップ回収併せて月平均1,200～1,300kg程度	使用済み小型家電製品の回収	H26.1～	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、家庭から排出される使用済み小型家電製品を市内7箇所にて拠点回収を実施、併せて一部地域で粗大ごみからのピックアップ回収も実施	H28回収実績 21,830kg					
	しぶかわ環境まつり	H11年度～	(1)啓発コーナー、(2)1R：発生抑制コーナー、(3)2R：再利用コーナー、(4)3R：再資源化コーナー等を設置し、3Rの啓発を行った。		しぶかわ環境まつり	H11年度	(1)啓発コーナー、(2)1R：発生抑制コーナー、(3)2R：再利用コーナー、(4)3R：再資源化コーナー等を設置し、3Rの啓発を行った。	H28来場者実績 約4,500人					
藤岡市	ペットボトルキャップ資源化	H23.4	ペットボトルキャップを分別収集することにより、可燃ごみとして排出されていたペットボトルキャップの資源化、可燃ごみの減量化を図る。	排出実績 23年度3.20t 24年度3.60t 25年度3.94t	リサイクルプラザでの古着のリユース強化	H28.4	古着の販売は以前より実施されていたが、28年度より販売数増加等の強化を行っている。	環境意識の向上	廃食油の資源化	H29.4	廃食油を分別収集し、発電用燃料として再利用を図る。		
	食品用トレイの資源化品目追加	H23.4	白色トレイのみの収集から、色付、柄付、透明トレイを追加し、資源化の推進を図る。	毎年約1tの資源化を達成					せん定粉砕機貸出事業の強化	H29.4	かねてより行っていたせん定粉砕機貸出事業の強化のため、粉砕機を1台増台し、ごみのさらなる減量化を図る。		
	焼却灰の資源化	H24.4	焼却灰を人工砂などの路盤材に資源化する委託契約を締結し、資源化の推進を図る。	焼却灰全量を資源化。 H25年度2,454.7t									
	せん定枝粉砕機貸出事業	H25.4	市民などを対象に粉砕機を貸出し、粉砕機によりチップ化されたものを堆肥化など資源化するとともに、可燃ごみの減量化を図る。	H25年度貸出日数 147日									
	古着類の資源化	H26.9	清掃施設で古着類の拠点回収を実施し、資源化及び可燃ごみの減量化を図る。	平成27年1月末まで 1.51t									
	使用済み小型家電製品の再資源化	H27.4	清掃施設での拠点回収及びピックアップ回収										

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の效果	施策名	開始年月	内容	施策の效果	施策名	開始年月	内容
富岡市	使用済み小型家電製品の回収	H26.11	不燃ごみの収集及び直接搬入の中かからピックアップ方式により、回収する。	回収量 H26 25,750kg H27 63,000kg	使用済み小型家電製品の回収	H26.11	不燃ごみの収集及び直接搬入の中かからピックアップ方式により、回収する。	回収量 H28 66,140kg			
安中市	事業系ごみ排出事業所に対する3Rの啓発	H23.7	市内事業所向けに、減量化や分別の徹底の啓発冊子を作成し、配布した。	事業系ごみが年々増加傾向にあるため、再度啓発を行う必要があると考える。	古紙の行政回収、拠点回収	H26.10	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月1回ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 28年度 312,860kg	廃食用油拠点回収	H29.8	家庭から排出される廃食用油について、市役所、支所、クリーンセンターの3箇所にて随時回収を行う。
	古紙の行政回収開始に向けた、モデル地区(2地区)を対象とした古紙回収	H25.10	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、ごみステーションにて回収を実施。(H26.9月まで)	計67,170kgを回収し、その間の集団回収量も増加したことから、H26.10月より市内全域で古紙回収を開始した。	使用済み小型家電の回収	H26.10	市役所等市内6箇所に回収ボックスを設置し、回収を行う。	回収実績 28年度 20,332kg			
	古紙の行政回収、拠点回収	H26.10	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月1回ごみステーションにて回収、および碓氷川クリーンセンターにて随時受入を開始。	回収実績 26年度 153,590kg 27年度 296,090kg	古着・古布の有価物集団回収	H26.10	有価物集団回収にて回収を行う。	回収実績 28年度 9,580kg			
	使用済み小型家電の回収	H26.10	市役所、文化センター等市内6か所に回収ボックスを設置し、回収を開始。(H28.4より1か所追加)	回収実績 26年度 4,630kg 27年度 12,425kg	古着・古布の行政回収、拠点回収	H28.4	古紙行政回収と同じ日に、ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 28年度 37,670kg			
	古着・古布の回収	H26.10	有価物集団回収にて回収を開始。	回収実績 26年度 3,730kg 27年度 9,782kg	事業系ごみ排出事業者に対する適正処理の啓発	H28.9	市内事業者に、ごみ減量化・資源化・適正処理等の啓発冊子を作成し配布した。また、大規模事業者に対しては直接説明を行った。				
みどり市	使用済み小型家電の回収	H26.2	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。	H25回収実績 217.0kg H26回収実績 797.5kg H27回収実績 321.3kg	集団回収奨励金	H18.4	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg	H28回収実績 874.6t			
	集団回収奨励金	H18.4	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg	H25回収実績 1,047.3t H26回収実績 1,020.6t H27回収実績 971.5t	生ごみ減量化対策補助金	H18.4	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。	H28交付実績 10件			
	生ごみ減量化対策補助金	H18.4	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。	H25交付実績 14件 H26交付実績 4件 H27交付実績 6件	廃食用油の回収	H22.4	家庭等から出る廃食用油を市内4カ所で拠点回収を行っている。(H27.10月から3カ所に変更)	H28回収実績 3,741リットル			
	廃食用油の回収	H22.4	家庭等から出る廃食用油を市内4カ所で拠点回収を行っている。(H27.10月から3カ所に変更)	H25回収実績 2,643リットル H26回収実績 2,256リットル H27回収実績 3,041リットル	使用済み小型家電の回収	H26.2	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。	H28回収実績 381.8kg			
	使用済みインクカートリッジの回収	H27.4	一般家庭からでる、インクカートリッジを市内4カ所で拠点回収を行っている。	H27回収実績 6kg	古着・古布回収	H27.10	市内3カ所に回収ボックスを設置して回収を行い、資源回収業者によって、海外にリユースされる。	H28回収実績 19.5t			

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
榛東村	資源ごみストックハウスの設置	H23.6	平日の資源ごみ回収を利用できない方向けに、土日に資源ごみの受け入れを行っている。	H27年度までに合計222tの回収実績があった。	資源ごみストックハウスの設置	H23.6	毎週土日に資源ごみ(11品目)の拠点回収を行っている。	H28年度までに合計296tの回収実績があった。			
	使用済み小型家電の回収	H25.11	小型家電等のイベント回収を毎年実施している。 また、H26年度から村内5箇所回収ボックスを設置したほか、上記資源ごみストックハウスにおいても小型家電の回収を行っている。	H27年度までに合計14tの回収実績があった。	使用済み小型家電の回収	H25.11	小型家電等のイベント回収を毎年実施している。 また、H26年度から村内5箇所回収ボックスを設置したほか、上記資源ごみストックハウスにおいても小型家電の回収を行っている。	H28年度までに合計18tの回収実績があった。			
	資源ごみ回収団体報奨金の交付	H23.4	集団回収を行う団体に回収回数・回収量に応じて報奨金を交付する。	H27年度までに合計888tの回収実績があった。	資源ごみ回収団体報奨金の交付	H23.4	集団回収を行う団体に回収回数・回収量に応じて報奨金を交付する。	H27年度までに合計1,044tの回収実績があった。			
	エコフェスタ(環境祭)の実施	H23.11	住民の環境への意識の向上や3Rの推進を図るため、毎年1回開催し啓発活動等を行っている。		エコフェスタ(環境祭)の実施	H23.11	住民の環境への意識の向上や3Rの推進を図るため、毎年1回開催し啓発活動等を行っている。				
	生ごみ処理容器購入費補助	H24.4	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。(上限1基あたり3,000円)	H27年度までに37件の補助実績があった。	生ごみ処理容器購入費補助	H24.4	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。(上限1基あたり3,000円)	H28年度までに44件の補助実績があった。			
吉岡町	生ごみ処理容器購入費補助	H24.4	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。(上限1基あたり3,000円)	H27年度までに37件の補助実績があった。	資源ごみ集団回収に対する補助	H25.4	自治会、子供会等が実施する集団回収に対して、回収品目ごとの単価により補助金を交付	集団回収実施団体が増加			
上野村					資源ごみ(古紙類)の回収	H28.4～	可燃ゴミで処理していた古紙類を資源ごみとして回収	古紙類資源化が村民の間に浸透し始め、わずかではあるがごみの減量化に効果が見られた。			
神流町	飲料用紙パックの分別収集	H24.4	飲料用紙パックの分別収集	H25実績:130kg	取組なし						
下仁田町	使用済み小型家電の回収	H25.4	粗大ごみとして収集し、中間処理施設でピックアップ		使用済み小型家電の回収	H25.4	粗大ごみとして収集し、中間処理施設でピックアップ				
	有価物集団回収に対する補助制度	H5.4	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	住民の意識向上につながっている	有価物集団回収に対する補助制度	H5.4	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	住民の意識向上につながっている			
	家庭用生ごみ処理機購入に対する補助制度	H12.4	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)		家庭用生ごみ処理機購入に対する補助制度	H12.4	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)				
	ごみ収納箱の設置に対する補助制度	H17.4	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)		ごみ収納箱の設置に対する補助制度	H17.4	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)				



市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策		
	施策名	開始年月	内容	施策名	開始年月	内容	施策名	開始年月	内容
南牧村	生ごみ処理機補助金	H12～	生ごみ処理機購入金額の1/2を補助 (50,000円が限度額)	生ごみ処理機補助金	H12～	生ごみ処理機購入金額の1/2を補助 (50,000円が限度額)			
	有価物集団回収補助金	H8～	ごみ減量化8円/kg補助 (H27年度)	有価物集団回収補助金	H8～	ごみ減量化8円/kg補助 (H28年度)			
甘楽町	古着の回収	H24.9	衣類は通常可燃ごみとして回収しているが、年1回古着の回収日を設けてリユースを目的として回収している。 H24は9.7t、H25は8.4t、H26は6.5、H27は8.0tの回収実績があった。	古着の回収	H24.9	衣類は通常可燃ごみとして回収しているが、年1回古着の回収日を設けてリユースを目的として回収している。 H28は7.0tの回収実績があった。			
中之条町	古着古布の回収	H23.7	吾妻東部衛生センターにおいて、直接搬入する場合に限り、古着、古布を拠点回収している。 H26年度4.88t H27年度4.76tの回収実績があった。	古着古布の回収	H23.7	吾妻東部衛生センターにおいて直接搬入場合に限り、古着、古布を拠点回収している。 H28年度回収実績4t			
	資源集団回収奨励金	H17.4	集団回収を実施した団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付(5円/kg) 対象：新聞・雑誌・段ボール 下限5千円上限2万円 H26年度100t H27年度115tの回収実績があった。	資源集団回収奨励金	H17.4	集団回収を実施した団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付(5円/kg) 対象：新聞・雑誌・ダンボール 下限5千円上限2万円 H28年度回収実績96t			
	生ゴミ処理機等購入補助金	H21.4	生ごみ処理機等の購入費の1/2を補助(上限2万円) H26年度コンポスト7件 生ごみ処理機1件 H27年度コンポスト12件 生ごみ処理機3件の申請があった。	生ゴミ処理機等購入補助金	H21.4	生ゴミ処理機等の購入費の1/2を補助(上限2万円) H28年度実績 コンポスト11件			
長野原町	使用済み小型家電の回収	H25.11	文化祭会場にてイベント回収 H25 2820kg H26 2290kg H27 1740kg	有価物集団回収奨励	H3.6	有価物を集団回収した団体に対して奨励金を交付(2円/kg) H28年度 60,379kg	使用済み小型家電の回収	H29.5	文化祭のイベント回収と同様の取組みを異なる時期に町単独で実施(文化祭でのイベント回収は継続)
	生ごみ処理機器等購入補助	H22.4	生ごみ処理機器等の購入者に対して購入費用の一部を補助(購入価格の2分の1 上限2万円) ごみの減量	生ごみ処理機器等購入補助	H22.4	生ごみ処理機器等の購入者に対して購入費用の一部を補助(購入価格の2分の1 上限2万円) ごみの減量	エコバッグ作成	H29.11	ごみ減量啓発を目的とし、町内の小中学生を対象に文化祭参加賞の一つとして配布を予定。
	有価物集団回収奨励	H3.6	有価物を集団回収した団体に対して奨励金を交付(2円/kg) H27 60089kg	使用済み小型家電の回収	H25.11	文化祭会場にてイベント回収 H28年度 2,250kg			
嬭恋村	ペットボトルの資源化回収	H26.5	村内53カ所のステーションで月2回実施 H27年度 10,730kg H28.8現在 5,440kg	ペットボトルの資源化回収	H26.5	村内53カ所のステーションで月2回の回収を実施 H28年度 10,720kg			
	使用済み小型家電の回収	H26.5	年1回集団回収を実施 H27年度 1,390kg	使用済み小型家電の回収	H26.11	年1回集団回収を実施 H28年度 1,830kg			
草津町	有価物集団回収奨励事業	H4年	集団回収を行う団体に4円/kgの奨励金を交付する。 27年度実績99t	有価物集団回収奨励事業	H4.4	集団回収を行う団体に対して4円/kgの奨励金を交付する。 平成28年度 89,605kgの回収実績があった			
高山村	古着・古布の回収	H23.7	拠点回収の品目に古着・古布を追加。 集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。 平成25年度0.7t 平成26年度0.8t 平成27年度0.7t 回収実績	古着・古布の回収	H23.7	拠点回収の品目に古着・古布を追加。 集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。 回収実績 平成28年度1.0t			
東吾妻町	古着古布回収	H23.7	吾妻東部衛生センターにおいて、直接搬入する場合に限り、古着・古布を拠点回収している。 H23回収実績 0.77t H24回収実績 1.60t H25回収実績 3.34t H26回収実績 3.72t H27回収実績 3.82t	古着古布回収	H23.7	吾妻東部衛生センターにおいて、直接搬入する場合に限り、古着・古布を拠点回収している。 H28回収実績 3.21t			
	資源集団回収奨励金	H18.3	集団回収の実施団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付 下限5,000円・上限15,000円 1団体で年3回を限度 H26回収実績 202.40t H27回収実績 80.08t	資源集団回収奨励金	H18.3	集団回収の実施団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付 下限5,000円・上限15,000円 1団体で年3回を限度 H28回収実績 72.04t			
	生ごみ処理機等設置費補助金	H18.3	生ごみ処理機等購入費の1/2を補助 上限20,000円 H23補助実績 5件 H24補助実績 2件 H25補助実績 2件 H26補助実績 2件 H27補助実績 7件	生ごみ処理機等設置費補助金	H18.3	生ごみ処理機等購入費の1/2を補助 上限20,000円 H28補助実績 1件			

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の效果	施策名	開始年月	内容	施策の效果	施策名	開始年月	内容
片品村	庁舎内及び学校施設から排出される古紙類、ダンボール類の売却	H19年度	庁舎内及び学校施設より排出される古紙類、ダンボール類を契約した業者に売却している。(個人情報等が記載される重要書類を除く)	古紙類資源化の考えが職員に浸透しており、可燃ごみが減少している。	庁舎内及び学校施設から排出される古紙類、ダンボール類の売却	H19年度	庁舎内及び学校施設より排出される古紙類、ダンボール類を契約した業者に売却している。(個人情報等が記載される重要書類を除く)	古紙類資源化の考えが職員に浸透しており、可燃ごみが減少している。	古着の資源回収	H30年度予定	月1回行われる資源ごみの回収日に合わせて、古着の回収を行う予定。
	廃食油の回収	H18年度	村内一部地区のごみ収集棚にドラム缶を設置し、家庭から出る廃食油を回収する。また、年1回のイベント回収も実施している。	村民の間に浸透しており、僅かではあるがごみの減量化に貢献している。	廃食油の回収	H18年度	村内一部地区のごみ収集棚にドラム缶を設置し、家庭から出る廃食油を回収する。また、年1回のイベント回収も実施している。	村民の間に浸透しており、僅かではあるがごみの減量化に貢献している。			
	廃タイヤ・廃バッテリー及びスキー用具の有料回収	不明	年1回廃タイヤ、ホイール、廃バッテリー、スキー用具を村民が会場に持ち込み、業者に有料で引き取ってもらっている。	処分場で取り扱っていない品目を回収する機会を設けることにより、不法投棄や野焼きを防止する効果がある。	廃タイヤ・廃バッテリー及びスキー用具の有料回収	不明	年1回廃タイヤ、ホイール、廃バッテリー、スキー用具を村民が会場に持ち込み、業者に有料で引き取ってもらっている。	処分場で取り扱っていない品目を回収する機会を設けることにより、不法投棄や野焼きを防止する効果がある。			
					古着のイベント回収	H28.11	古着等を村内で行われるイベントの場で回収を行う。(月1回資源回収する計画を進めているため、それが開始されるまでの間実施する。)	試験段階なので浸透しているとは言いが、村内広報やイベントとの同時開催を行い、さらなる効果を期待したい。			
川場村	生ごみ処理機購入補助	H13.4	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	H23交付実績 0件 H24交付実績 1件 H25交付実績 4件 H26交付実績 11件 H27交付実績 5件	生ごみ処理機購入補助	H13.4	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	H28交付実績 8件			
					古着・古布の回収	H28.6	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、古着・古布の回収を追加した。	H28回収量 780kg			
昭和村	使用済み小型家電の回収	H26.4	資源物保管場において、拠点回収を実施	回収実績 704個	使用済み小型家電の回収	H26.4	資源物保管場において、拠点回収を実施	回収実績 196個			
みなかみ町	資源集団回収奨励金	H23.4	家庭から排出される再生利用可能な資源物(古紙類・かん・ペットボトル)を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	実績はH23は9t・H24は36t・H25は34t	資源集団回収奨励金	H23.4	家庭から排出される再生利用可能な資源物(古紙類、かん、びん、ペットボトル)を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	H28実績:80t			
	衣類・古布類の資源化	H24.6	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	実績はH24は53t・H25は82tと増加している	衣類・古布類の資源化	H24.6	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	H28実績:76t			
	使用済み小型家電の回収	H26.4	粗大ごみ等として町民が直接搬入した中からピックアップ方式により回収する。	実績はH27・1月末で37t	使用済み小型家電の回収	H26.4	粗大ごみ等として町民が直接搬入した中からピックアップ方式により回収。	H28実績:58t			
					生ごみの分別収集	H28.10	家庭から排出される生ごみを分別収集し、町営肥料化施設で肥料化する。	H28実績:搬入212t(10月～3月までの6ヶ月)			
				ごみ分別アプリ導入	H29.1	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリを導入。	H29.7現在ダウンロードのカウンタ数は人口の約5%、利用者は人口の0.5%～2%と推測				

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策				2 H28年度に実施した3R施策				3 H29年度から新たに実施する3R施策			
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果
玉村町	資源集団回収奨励金	H23.4	家庭から排出される再生利用可能な資源物（古紙類・かん・ペットボトル）を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	実績はH23は9t・H24は36t・H25は34t	古着・古布の回収	H23.4	子ども会等で行う集団回収に古着・古布類を回収品目に加え、粗大ごみとして直接搬入された古着類を、ピックアップにて回収し資源化。平成27年度から拠点回収を実施。平成28年度現在で、公共施設7カ所、保育所5カ所。	回収実績 H26年度：6,273kg H27年度：8,918kg H28年度：13,854kg	古着・古布分別収集の実施	H29.4	資源の日に各ステーションで古着・古布の回収を実施	
	衣類・古布類の資源化	H24.6	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	実績はH24は53t・H25は82tと増加している	使用済み小型家電の回収	H26.4	不燃ごみの収集及び粗大ごみとして直接搬入された中から、ピックアップにて回収を実施。また、イベントでの回収も実施。	回収実績 H26年度：51,464kg H27年度：48,783kg H28年度：47,488kg	雑がみ分別収集の実施	H29.4	資源の日に各ステーションで雑がみの回収を実施	
	使用済み小型家電の回収	H26.4	粗大ごみ等として町民が直接搬入した中からピックアップ方式により回収する。	実績はH27・1月末で37t	木質系ごみの資源化	H28.4	剪定枝や粗大ごみとして直接搬入された家具類を焼却処分していたが、燃料チップにする中間処理業者に資源化委託。	回収実績 H28年度：433,130kg	食品発泡トレイの資源化	H29.4	白トレイのみの収集から、色付や柄付の食品発泡トレイを品目に追加し、資源化の推進を図る。	
					ガラス・陶磁器類の資源化	H28.4	家庭から排出されるガラス・陶磁器類は不燃残渣として埋立処分していたが、土木資材等にする中間処理業者に資源化委託。	回収実績 H28年度：81,640kg				
板倉町	資源ごみ(古紙類)の回収	H20.4	燃えるごみで処理されていた古紙類を資源化センターにおいて回収。	H26年度実績154.9t	資源ごみ(古紙類)の回収	H20.4	燃えるごみで処理されていた古紙類を資源化センターにおいて回収。	H28年度実績186.3t	資源ごみ(容器包装プラスチック)のごみステーション回収	H29.4	広域ごみ処理に伴い、ごみ排出量削減のため、資源ごみである容器包装プラスチックのごみステーション回収を実施する	
	資源ごみ(古布類)の回収	H20.4	燃えるごみで処理されていた古布類を資源化センターにおいて回収。	H26年度実績71.5t	資源ごみ(古布類)の回収	H20.4	燃えるごみで処理されていた古布類を資源化センターにおいて回収。	H28年度実績110.1t	資源ごみ(ペットボトル)のごみステーション回収	H29.4	広域ごみ処理に伴い、ごみ排出量削減のため、資源ごみであるペットボトルのごみステーション回収を実施する	
	資源ごみ(スチール・アルミ缶)の分別収集	H20.4	スチール缶とアルミ缶を分別収集。全てリサイクルを行っている。	H26年度実績スチール缶50.3t、アルミ缶6.4t	資源ごみ(スチール・アルミ缶)の分別収集	H20.4	スチール缶とアルミ缶を分別収集。全てリサイクルを行っている。	H28年度実績スチール缶35.0t、アルミ缶16.7t	資源ごみ(新聞、雑誌、段ボール、雑がみ)のごみステーション回収	H29.4	広域ごみ処理に伴い、ごみ排出量削減のため、資源ごみである新聞、雑誌、段ボール、雑がみのごみステーション回収を実施する	
	廃食用油回収	H20.4	資源化センター、各公民館において回収。	H26年度実績1.0t	廃食用油回収	H20.4	資源化センター、各公民館において回収。	H28年度実績2.01t	資源ごみ(小型家電)の回収	H29.4	広域ごみ処理に伴い、ごみ排出量削減のため、資源ごみである小型家電のごみステーション回収を実施する	
	廃小型家電回収	H25.4	資源化センターにおいて回収。	H26年度実績31.2t	廃小型家電回収	H25.4	資源化センターにおいて回収。	H28年度実績46.83t	資源ごみ(プラスチック)	H29.4	広域ごみ処理に伴い、ごみ排出量削減のため、資源ごみであるプラスチックのごみステーション回収を実施する	
	集団回収助成金交付事業	H4.4	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。	H26年度実績新聞101.7t、雑誌34.1t、段ボール34.1t、アルミ缶8.2t、ビン0.5t	集団回収助成金交付事業	H4.4	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。	H28年度実績新聞95.3t、雑誌35.5t、段ボール44.0t、牛乳パック、0.2t、アルミ缶8.2t、ビン0.3t				
	マイバックキャンペーンの実施	H15年度より継続中	身近なごみの減量化施策として、買物の時はマイバックを持って、レジ袋削減を目的としたマイバックキャンペーンを実施。	26年度1,327kgのごみ減量効果があった。								

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策				2 H28年度に実施した3R施策				3 H29年度から新たに実施する3R施策			
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果
明和町	啓発活動の実施	不明	広報紙・出前講座・地区収集所でのチラシ配りによりごみ減量化のPR活動を行っている。	平成26年度は減少傾向にある。	再生資源集団回収事業	H3～	資源ごみを集団回収した町内の団体及び町内業者に対し、実績に応じて助成金を交付することにより、資源の再利用を推進しごみの減量化を図る。 (団体7円/kg 業者2円/kg)	H28年度実績 196.5 t	もったいない西館(資源ごみ収集所)の検討及び設置	H30年度	現在、町の中央と東部に資源ごみ収集所を設置しており、今後西部も同様に設置を計画している。	
	マイバックキャンペーンの実施	H15年度より継続中	身近なごみの減量化施策として、買物の時はマイバックを持って、レジ袋削減を目的としたマイバックキャンペーンを実施。	25年度は1,371kgのごみ減量効果があった。	ごみ減量化器具購入費助成事業	H8～	家庭内で発生する生ごみを自家処理するためにごみ減量化器具を購入したのに対し、購入費の一部を助成する。 (購入金額の1/2で上限3万円)	H28年度実績 3件				
	再生資源集団回収事業	H3年～	再生資源を回収する団体等に対し、助成金を交付することで、資源の再生利用を推進しごみの減量化を図る。	25年度実績で、211.25tの回収量があった。	使用済小型家電の収集	H24～	資源ごみ収集所(町内2か所)にて、家庭から出た使用済小型家電を分別収集	H28年度実績 31.4 t				
	使用済み製品等のリユース促進事業	H23.12	使用済製品のリユース促進のため、民間のリユース業者との連携によるリユースショップの活用を促進を図り、粗大ごみ等の減量化に努める	25年度実績は744人	アルミ・スチール・金属類収集	S58.9～	資源ごみ収集所(町内2か所)及び地区収集所にて、アルミ缶・スチール缶・その他金属類で分別収集	H28年度実績 アルミ缶:13.7 t スチール缶:21.4 t 金属類:36.9 t				
	使用済み小型家電の回収	H24.4	家庭から出た使用済み小型家電を分別収集	H24年度は22トン、 H25年度は4月～H26年1月まで25トンの回収実績があった。 H26年2月～H27年1月で34.26トンの回収実績	古着収集	H11.4～	資源ごみ収集所(町内2か所)にて収集	H28年度実績 49.4 t				
	リサイクル啓発事業	H24.4	廃棄された古着等を裂いて横糸にし様々な模様を専用の織機で織り込んだ布を裁断加工しバッグや暖簾などの製品を製作	町内イベント等でPRを行いリサイクル品の展示、販売を行った。	古紙収集	H10.4～ 雑紙はH18.4～	資源ごみ収集所(町内2か所)及び地区収集所にて分別収集	H28年度実績 新聞紙:100.2 t 段ボール:57.8 t 紙パック:2.1 t 雑誌:71.9 t、雑紙:49.6 t				
	ごみ減量化器具購入費助成事業	H8.4	家庭内で発生するごみを自家処理するための生ごみ処理槽、処理容器及び生ごみ処理機を購入する者に対し、購入費の一部を助成することで、ごみ減量化を推進する。	25年度実績で、処理槽3基、処理機1基、合計4基の購入があった。	廃食用油収集	H19.4～	資源ごみ収集所(町内2か所)にて収集	H28年度実績 1,860 L				
					廃携帯電話収集	H26.4～	資源ごみ収集所(町内2か所)にて収集 (携帯電話+バッテリー)	H28年度実績 携帯電話:16kg バッテリー:4kg				
					ペットボトル収集	H8.9～	資源ごみ収集所(町内2か所)及び地区収集所にて分別収集 (キャップ、ラベルを外して収集)	H28年度実績:25.7 t				
					リターナブルビン分別収集	H19.4～	地区収集所にて分別収集 業者に引き渡して再生	H28年度実績 一升瓶(青色):653本 一升瓶(茶色):2,713本 ビール瓶:1,243本				
					瓶等ガラス類分別収集	S58.9～	地区収集所にて分別収集 (業者によって砂化ガラス入再生加熱アスファルト混合物としてリサイクル)	H28年度実績 茶色:27.7 t 無色:24.6 t 有色:8.4 t				
					リサイクル啓発事業	H24.4～	廃棄された古着等を裂いて横糸にし、様々な模様を専用の織機で織り込んだ布を裁断加工し、バッグや暖簾などの製品を作成しイベント等で販売	町内のイベント等でPRを行い、リサイクル品の展示、販売を行った。				

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策			2 H28年度に実施した3R施策			3 H29年度から新たに実施する3R施策				
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
千代田町	廃食用油の回収事業	H23	原則月1回の回収を実施。	4月～12月の前年比：58%増加した。	生ごみリサイクル事業	H28.4	給食センター、東西保育園から排出される食品残渣を、町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託	H28の実績としましては、25tをリサイクル化	生ごみリサイクル事業	H29.4	幼稚園及び保育園へ登園されている家庭の生ごみを町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託。
	古着・古布の回収	H25	イベントにて回収。集めた古着・古布は、資源回収業者により、主に海外へリユースされる。	H26.11.16【360kg】 H26.11.26【330kg】の回収実績があった。	古着類の回収品目追加	H28.5	業者の変更に伴い、従来の古着に加えて、バッグ・靴・毛布等も回収。	【H28実績】 5,110kg 【H27実績】 2,000kg	剪定枝リサイクル事業	H29.7	家庭や公共施設から排出される剪定枝について、バイオ燃料の原料としてチップ化している中間処理施設保有の町内民間業者へ処理委託
	資源ごみ分別収集事業（アルミ缶・スチール缶）	H25.4	資源ごみの分別品目の飲料用の缶に、これまで不燃ごみとして回収していた食料品用の缶を追加。飲食用のアルミ缶・スチール缶として回収を実施した。	4月～12月の前年比：4%減少した。全体のごみの量が減少しているため。	紙類の拠点回収実施	H28.6	ステーション回収に加えて、保健センターで拠点回収。	731.6kg	紙類回収事業	H29内	紙類の出し方を掲載した紙袋を毎戸配布
	資源ごみ分別収集事業（紙類）	H25.4	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。合わせてチラシを全戸配布し、紙類の分別拡大を図った。	4月～12月の前年比：9%増加した。	エコ講話	H28.4	幼稚園及び保育園の保護者向けに実施。		ポイント制度	H30	ごみをリサイクルしたらポイントを付与。ポイントが貯まったら、商工会の商品券と交換。
	古着・古布の回収	H26.7	原則月1回の回収を試験的に実施。ごみカレンダー掲載なし。集めた古着・古布は、資源回収業者により、主に海外へリユースされる。	H26.7～H27.2時点で【780kg】の回収実績があった。							
	使用済み小型家電の回収	H26.7	原則月1回の回収を試験的に実施。ごみカレンダー掲載なし。	H26.7～H27.2時点で【830kg】の回収実績があった。							
	使用済み小型家電の回収	H26	イベントにて回収。	H26.11.16【185kg】 H26.11.26【310kg】の回収実績があった。							
大泉町	廃食用油の回収事業	H24.4	役場内環境課窓口にて随時（土日預かりも可）回収。	昨年度の同時期（1月末）に比べて、持込者数が21%増。	廃食用油の回収事業	H24.4	役場内環境課窓口にて随時（土日預かりも可）回収。	279件の回収実績があった。			
	資源ごみ分別収集事業（アルミ缶・スチール缶）	H25.4	資源ごみの分別品目の飲料用の缶に、これまで不燃ごみとして回収していた食料品用の缶を追加。飲食用のアルミ缶・スチール缶として回収を実施した。	4月から12月までの前年比では、前年度並の回収実績であり、更なるPRが必要。	資源ごみ分別収集事業（紙類）	H25.4	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。合わせてチラシを全戸配布し、紙類の分別拡大を図った。	可燃ごみの減少につながった			
	資源ごみ分別収集事業（紙類）	H25.4	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。合わせてチラシを全戸配布し、紙類の分別拡大を図った。	4月から12月までの前年比で、対象の紙類の回収実績が減っている。更なるPRが必要。	古着・古布の回収	H25.11	古着や古布の回収を町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。また、役場内環境課窓口にて随時（土日祝日を除く）回収。回収された古着等は、主に海外にてリユースされる。	194人、1259kgの回収実績があった。			
	古着・古布の回収	H25.11	古着や古布の回収を町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。回収された古着等は、主に海外にてリユースされる。	イベント3日間で、古着・古布1.1tの回収実績があった。ボックスを設置して随時回収が出来ないか検討中。	使用済み小型家電の回収	H26.5	町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。	55人、735kgの回収実績があった。			
	使用済み小型家電の回収	H26.5	町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。	イベント3日間で、持込者数が60人であった。							

市町村名	1 H23～H27年度に実施した3R施策				2 H28年度に実施した3R施策				3 H29年度から新たに実施する3R施策		
	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容	施策の効果	施策名	開始年月	内容
邑楽町	古着・古布の回収	H25.12	古着・古布を回収。集めた古着・古布は資源回収業者により主に海外でリユースされる。	古着・古布の回収実績平成25年度 590kg 平成26年度 2,170kg 平成27年度 2,040kg 平	古着・古布の回収	H25.12	古着・古布を回収。集めた古着・古布は資源回収業者により主に海外でリユースされる。	平成28年度回収実績 2,680kg			
	廃食用油の回収	H25.12	廃食用油を年2回収	わずかではあるが、可燃ごみが減少	廃食用油の回収	H25.12	廃食用油を年2回収	わずかではあるが、可燃ごみが減少			
	資源ごみ分別収集事業（アルミ缶・スチール缶）	H25.4	資源ごみの分別品目の飲料用の缶に、これまで不燃ごみとして回収していた食料品の缶を追加。飲食用のアルミ缶・スチール缶として回収を実施した。	わずかではあるが、不燃ごみが減少	資源ごみ分別収集事業（アルミ缶・スチール缶）	H25.4	資源ごみの分別品目の飲料用の缶に、これまで不燃ごみとして回収していた食料品の缶を追加。飲食用のアルミ缶・スチール缶として回収を実施した。	わずかではあるが、不燃ごみが減少			
	資源ごみ分別収集事業（紙類）	H25.4	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。合わせてチラシを全戸配布し、紙類の分別拡大を図った。	わずかではあるが、可燃ごみが減少	資源ごみ分別収集事業（紙類）	H25.4	包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。合わせてチラシを全戸配布し、紙類の分別拡大を図った。	わずかではあるが、可燃ごみが減少			
	使用済み小型家電の回収推進	H26.12	使用済み小型家電を回収	平成27年度回収実績 2,550kg	使用済み小型家電の回収推進	H26.12	使用済み小型家電を回収	平成28年度回収実績 3,260kg			
	資源ごみ回収奨励金	H15.4	資源ごみの回収団体に、ごみのリサイクル・減量化を図るため、回収量に応じて1kgあたり8円を交付する。	平成27年度回収実績 59,550kg	資源ごみ回収奨励金	H15.4	資源ごみの回収団体に、ごみのリサイクル・減量化を図るため回収量に応じて1kgあたり8円を交付する。	平成28年度回収実績 31,715kg			